

一般社団法人 日本臨床検査自動化学会

2019年度 第3回理事会議事録

開催日時： 2019年6月22日（土）13時15分～13時45分

開催場所： 文京シビックセンター 3階 会議室 A+B

出席者： 康東天理事長、横田浩充副理事長、萱場広之理事、澤部祐司理事、
 谷直人理事、通山薫理事、萩原三千男理事、日高洋理事、
 栢森裕三監事、白井秀明監事、村上正巳監事

欠席者： 和田隆志理事

議題1. 理事長挨拶

康東天理事長より、多忙の中を第3回理事会にご参集頂いたことへの謝辞があった。また、理事長として最後の理事会であり4年間の活動協力に感謝の言葉があった。

- ・国際基金の設立に関して、日立の三浦氏と共に各方面と協議を進めている。詳細については、審議事項3-4 趣意書にて説明の予定である旨、報告があった。

議題2. 報告事項

2-1. 総務職務報告（横田副理事長）

- ・2020年度の大会に向け、特別講演・シンポジスト等を選定し打診している。

以上の報告があった。

2-2. 定時社員総会について

横田副理事長から下記の報告を確認した。

(1) 出欠はがき返信数確認

社員総会出席者15名、委任状123名で計138名の出席、総社員数は162名で出席率85%、総会成立の会則を満たしている旨、報告があった。

(2) 議事録署名人の選出について

中山先生と山崎先生の2名の提案があり異議のないことを確認した。

(3) 式次第および資料の最終確認（資料1）

資料 1 に基づき定時社員総会の進行および議事資料の最終確認を行った。

第 5 号議案：改称に関しては否決が 10 名であった。

(4) その他

特になし。

2-3. 地域担当理事からの報告

特になし。

2-4. 第 51 回大会の進捗状況について

事務局から以下の報告があった。

(1) 一般演題数報告（資料 2）

演題募集 2 回の延長を行い、最終的に 264 題となった旨、報告があった。

現在、座長を依頼中であるが、演題数が常に 300 演題を上回るよう、今後の課題とする。

(2) 謝礼について（資料 3）

海外から講演者 6 名、特別講演者は 2 名であり、海外に関しては初の事例であり、資料の通りの謝礼とする。特別講演については規定通りに処理する。

(3) その他

特になし。

2-5. POC 委員会役員報告（日高理事）（資料 4）

・日高理事より資料に基づいて、新役員の説明があった。

2-6. その他

・特になし。

議題 3. 審議事項

3-1. 学術委員会より委員異動申請（日高理事）（資料 5）

・資料に基づいて説明があり、審議の結果申請通り承認された。

3-2. POC 委員会 POC 認定 WG 行動費申請（日高理事）（資料 6）

・資料に基づいて説明があり、審議の結果申請通り承認された。

・なお、今後の WG 会議開催の行動費の支出については、理事長または副理事長が適正か否かを判断することとした。

- ・ただし、年間WGの開催回数や支出予測額を委員長に確認することとした。

3-3. POC委員会第73回POC共催セミナー申請(日高理事)(資料7)

- ・資料に基づいて説明があり、審議の結果共催を許可することとした。

3-4. 国際交流委員会より国際基金設立趣意書(康理事長)(資料8)

- ・資料に基づいて説明があった。7月下旬に正式に説明会を開催する。
- ・目的は、①JACLaS機器展示国際化への協力を通して日本の臨床検査を国際的に発信することに寄与し、②自動化学会自身として国際交流を推進し、本会の国際的認知度を上げることである。
- ・運営方針として、資金の利用目的を明確化するため国際協力のための専用の口座を設ける。
- ・活動計画として、10月の大会終了後にキックオフと記念シンポジウムを開催する。当面の対象エリアは、東南アジア諸国をメインとする。
- ・委員会の内規を作成し活動内容等を明確化するよう意見があり、内規を作成することとした。

以上を審議し活動を開始することが承認された。

3-5. 日本臨床検査標準協議会より(横田副理事長)

(1) JCCLA年会費(資料9)

- ・横田副理事長より資料を基に説明があり、15万円の支出について承認された。

議題4. その他

- ・栢森裕三監事が、本日で退任のため挨拶があった。

以上

2019年9月9日

一般社団法人 日本臨床検査自動化学会

理事長

康東天 

議事録署名人
(出席監事)

白井秀明

議事録署名人
(出席監事)

村上正巳



議事録署名人
(出席監事)

福森裕三

